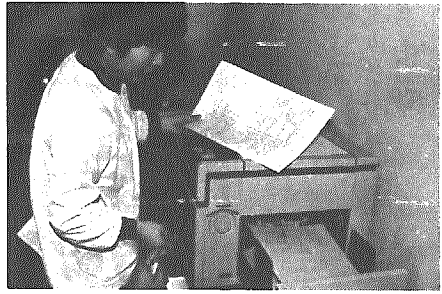


いい顔、ありがとう

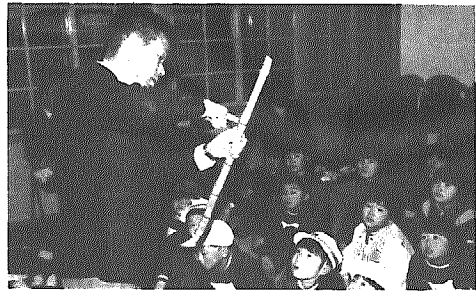
●この広報紙にあなたが
写っていましたら、総務課
企画係(☎824-111)内線
二〇二(へ)ご連絡ください。
写真をさしあげます。



卒園アルバム

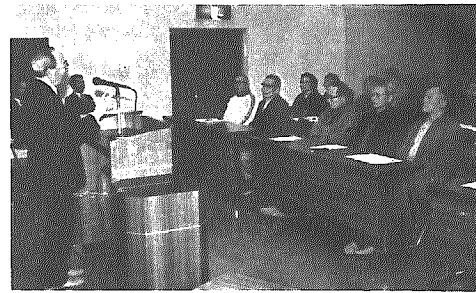
ぼくたちも書いた

「わたしのかわい」。「ぼくのかお」。三月は別れの季節。先月二十六日、村内の四保育園では一斉に卒園式が行われました。この春新一年生になる年長組は、卒園の前に保育園での楽しい思い出をいつまでも、と自分の好きな絵や思いを書いた卒園アルバムを作成しました。保育園生活の楽しい思い出として、園児たちの心にいつまでも残るでしょう。



まずはサトウキビについての授業を

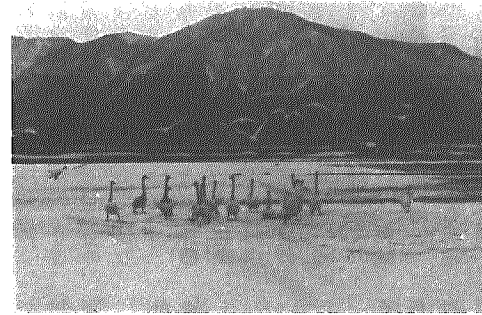
▲本物のあまさを味わう——ふるさとの子供たちに本当のサトウキビを知ってもらいたい、と先月5日、沖縄市の上原清善さんから沖縄特産のサトウキビ約100キロが、村内の各小中学校にプレゼントされました。ここ間瀬小学校では、早速試食会が催され、先生からサトウキビについての説明を受けたあと、児童全員が食べやすい大きさに切られたサトウキビに挑戦。「わあ、あまいな」と本物のあまさを味わっていました。



熱気あふれる「高齢者学級の講演風景

▲人気沸とう——お年寄りに学習機会をと、毎月開催されている公民館の「高齢者学級」は、毎回出席率がよく、カルチャーブームへの関心の高まりや、生涯学習への意欲の強さがお年寄りの間に浸透していることをうかがわせています。先月5日、間瀬地区公民館で開かれた間瀬高齢者学級では、村長が講演し「夢とやすらぎのある村づくりのため、みなさんの持てるパワーを若者に受け継いでほしい」との期待や岩室村の未来をさまざまな角度から見つめた展望を述べました。また講演後の質疑応答では熱心な意見が相次いでいました。

北の使者、旅立ちへ



岩室村にもようやく本格的な春が訪れました。田んぼ一面の雪も徐々に解け、所々で土をのぞかせはじめた先月初旬。北の使者、白鳥が本村の西中地内にひんぱんに飛来。一団のグループ(20羽~30羽)をつくり、多い日には100羽以上も。田んぼでは、旅立ち前の栄養補給!?か盛んにえさをついばんでいました。——今ごろ、みんな元気に北の空を飛んでいるといいですね。

春

確かな足取り



ぼくたち新人で~す

みんな胸ワクワク、1日入園・1日入学

〔写真上〕先月十七日、和納第二保育園は新入園児の一日体験入園日。ふだん元気のいいわんぱくたちも少々緊張ぎみ。しかし、仲間と遊んでいるうちに、すっかり仲良しになりました。村内では今年百三十五人のチビッ子が保育園に入園します。一方、〔写真左〕岩室小学校では五日、今春新一年生になる園児の一日入学がありました。教室で先生の話の聞いたり、屋内運動場で体操をしたり、初めは落ちつかなかったものの、すぐに打ちとけ、いつもの園の延長とばかりに元気いっぱい。ここだけはひと足早い春が訪れているようでした。



はい、タッチよ!

間保でふれあい交歓会



先月十八日、間瀬保育園では園児のおじいちゃんやおばあちゃんを招いて、世代を超えた楽しい交歓会を行いました。参加者は約三十人。お互いに自己紹介をしたあと、みんなでリズム運動やゲームを楽しみました。ふだん家庭ではなかなか孫らと一緒に遊べる時間がないとあって、みなさん年を忘れ大ハッスル。輪ゴム渡しリレーやリズム運動では、孫らに教えられながらも案外!?うまくこなしていました。「とっても楽しいね!」と人気上々のふれあい交歓会でした。

電話
お願い手帳



3分間のまごころを。

NTT巻からのプレゼント

オレンジ色の手帳
見たら「協力を

私のかわりに電話をしてください——耳や言葉の不自由な人も電話を気軽に利用できるようにと、「電話お願い手帳」が巻電報電話局から贈呈されました。この手帳には、目的別の電話依頼やその内容などが書かれています。オレンジ色のこの手帳を見たら、持ち主に代わってぜひ電話をしてあげてください。